



International 14を追うTasar (ミッドサマーレガッタ)
 Photo by Kiwamu Ishimura



2004 年度年次総会のご案内
 TASAR OF THE YEAR 途中経過

西日本選手権 ミッドサマーレガッタ

【公示】第19回テザー級全日本選手権大会

CONTENTS

メジャー通信

クラスルール変更の投票結果

新連載 スマートレースのススメ

TASAR SAILORS 夏の旅レポート

WORLD TOPICS 《海外情報》

編集後記





巻頭言 真夏の出来事

会長 本吉譲治

東京では最高気温が39.5に達し、連日真夏日が40日を超えるなど、今年の夏はまさに記録づくめの暑さであった。こうなると、もっと記録が延びたらよいのと思うのは、私だけだろうか。そんな暑さを逆に楽しんでしまおうと、葉山住まいの特権を生かして、仕事に出かける前に海に泳ぎに行くことにした。

何度か通ううちに、堤防脇の岩場に熱帯魚のように色鮮やかな小魚達が群れをなしていることに気がついた。自宅に戻り、早速図鑑をめぐって調べてみると、全体がコバルト色で尾びれの部分がオレンジ色のは「ソラスズメダイ」。昨年全日本のとき、笠置新港のポンツーン脇にたくさん泳いでいたのを記憶されている方もいるのではないだろうか。そして、黄色と黒の縦縞が「オヤビッチャ」、横縞模様の方は「カゴカキダイ」のそれぞれ幼魚で、南日本に広く分布し岩場の潮溜まりではよく見られる魚達として紹介されていた。かわいらしい魚達に会えることが、泳ぎに出かける楽しみの一つとなり、この日から堤防脇の岩場は僕にとっておきの場所となった。

ある朝、いつものように堤防にそって泳いでいると、出港していく漁師が

私の側まで来て船を停めて何か言い始めた。「ここは船の出入りがあるから、泳ぐならあっちに行ってくれ」とのことだった。ぶっきらぼうな漁師の物言いに一瞬「むっ」としたものの、確かに言われてみればその通りである。海を楽しむ人々と、海を生活の場とする漁業者との間には、その立場の違いから大きな隔たりがあり、以前からいろいろな問題が取沙汰されてきた。

また先日、練習を終えて笠置へ帰る途中、ヘリコプターがホバーリングしているのに気がついた。ヘリコプターの音は私が帰宅してから後も、そして翌朝も聞こえていたが、その後ダイバーが水死体で岸からわずか15mの岩場で発見されたことが報道された。それから数日たった頃、悲惨な出来事であったにも拘らず、漁師の人たちの反応は冷やかであったと聞かされた。素潜りで遊び程度に貝や魚を獲るならまだしも、本格的な装備で大量に密漁をしている最中の事故であったらしい。漁師から見れば、他人の畑から勝手に収穫物を盗む泥棒ということになるのだろう。

海がいくら広いとはいえ、浜辺や沿岸部には多勢の人が押し寄せ、各々がその目的に従い自然の恵みを享受している。実際、スポーツ・レジャーに限ってみて

も、ヨットをはじめウィンドサーフィン、釣り、シーカヤック、ジェットスキー等、実に多くの人がやって来る。セーリング中にほかの分野の人たちとトラブルになったり、迷惑を被った経験をされた方も多いのではないかと思う。スタートラインを設定した後に、漁船がすぐそばに網を入れてしまいスタート出来なかったこと。釣り糸を引っ掛けてトラブルとなったこと。モーターボートがすぐ脇を猛スピードで通り抜け、波を食らって危うく沈しそうになったこと。レース中にポリ袋が引っ掛かって失速してしまったことなど、数え上げればきりが無い。

海は、多くの人を受け入れ、その一人一人に楽しみを分け与えてくれるが、そこには楽しむためのルールも当然必要となってくる。海に出かける度に、海のそばに暮らすことの幸せを実感するとともに、海を楽しむための心構えを改めて考えさせられた夏であった。

ところで、漁師にあっちに行ってくれといわれた後、どうしたかって？ もちろん、漁師の出入りの邪魔にならないところに場所を移して、しっかり泳いでますよ。くらげには相当刺されましたけど……。

2004年度年次総会開催のご案内

下記の通り2004年度の日本テーザー協会年次総会を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席ください。総会に出席できない場合は、**10月7日(木)まで**に国内事務局宛にファックスまたは郵送にて別紙の委任状をお送りください。よろしくお願いいたします。

日時: 10月10日(日) 18:00~

場所: 「新西宮ヨットハーバー 第一会議室」

〒662-0934 西宮市西宮浜4-16-1 TEL (0798) 33-0651 FAX (0798) 33-2411

<http://www.sinnisi-yh.co.jp/>

(全日本セーリングサイトより車で5分・駐車場あり)

- 議題:**
1. 平成16年度の活動報告
 2. 平成16年度会計報告
 3. クルーウェイト国内ルールの評価及び継続の是非について
 4. クラスルール改正投票の結果報告
 5. Tasar of the Year について
 6. 平成17年度活動予定(案)
 7. 平成17年度予算(案)
 8. その他

JSAFメンバー登録について

2004年度のJSAF(財団法人日本セーリング連盟)へのメンバー登録をご希望の方はテーザー協会を通じて登録することが可能です。全日本へ参加する場合は、JSAFのメンバー登録が必要です。全日本までに事前登録いただけますようご協力をお願いいたします。

登録をご希望の方は下記までご連絡ください

折り返し登録内容や振込に関するご連絡をいたします。

稲毛フリート 田中紀子 e-mail: CXE02725@nifty.com TEL / FAX: 043-211-7535

フリート単位やグループでご連絡いただくと助かります。ご協力をお願いいたします。

今年度初めて登録される方
昨年度テーザー協会を通じて登録されていない方

➡ 登録用紙への記入が必要です。

昨年度テーザー協会を通じて登録された方

➡ 登録内容(住所、連絡先など)に変更がある場合はお知らせください。

JSAFメンバー登録に関しては、日本セーリング連盟のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jsaf.or.jp/info/nyukai.htm>

TASAR OF THE YEAR 2004 途中経過

■ :JTA未加入期間

RR:レースリザルト RP:レースポイント CP:運営ポイント VP:遠征ポイント

順位	NAME	FLEET	スプリングレガッタ					西日本					ミッドサマー					TP
			葉山(4/24,25)					芦屋(7/18)					猪苗代(8/21,22)					
			RR	RP	CP	VP	T	RR	RP	CP	VP	T	RR	RP	CP	VP	T	
1	関口 真秀	葉山		0	26	0	26	2	24	3	3	30	3	24		2	26	82
2	本吉 讓治	葉山	9	24	3	0	27	2	24		3	27	3	24		2	26	80
3	中島 玲子	葉山	3	30	3	0	33	10	16		3	19	7	20		2	22	74
3	山本 晴之	葉山	3	30	3	0	33	10	16		3	19	7	20		2	22	74
5	秋吉 寿美子	大阪北港	18	15		3	18	3	23	3	1	27	5	22		3	25	70
5	池田 俊則	大阪北港	18	15		3	18	3	23	3	1	27	5	22		3	25	70
7	小松 充	葉山	11	22		0	22	5	21	3	3	27	16	11	3	2	16	65
8	野嶋 嘉昭	葉山	5	28	3	0	31				0	0	6	21		2	23	54
8	長谷川 勝啓	浜名湖	8	25		2	27	1	25		2	27		0		0	0	54
10	井上 誠一	稲毛	2	31		1	32		0		0	0	8	19		2	21	53
10	龜山 寛達	稲毛	2	31		1	32		0		0	0	8	19		2	21	53
12	田中 紀子	稲毛	16	17	3	1	21		0		0	0	2	25		2	27	48
13	宮下 知之	葉山		0	26	0	26	8	18		3	21		0		0	0	47
14	田中 郁也	稲毛	16	17		1	18		0		0	0	2	25		2	27	45
15	岡 誠	葉山	21	12	3	0	15		0		0	0	1	26		2	28	43
16	石原 裕二	葉山	17	16	3	0	19		0		0	0	9	18		2	20	39
17	白岩 道孝	浜名湖	12	21		2	23	13	13		2	15		0		0	0	38
18	伊藤 雄一郎	葉山		0	26	0	26	5	21		3	24	16	11		2	13	37
19	山下 栄輝	葉山	15	18		0	18		0		0	0	11	16		2	18	36
20	鷹野 香	稲毛	1	32		1	33		0		0	0		0		0	0	33
21	村尾 隆	江ノ島	24	9		1	10	22	4		3	7	17	10	3	2	15	32
22	赤井 寛	江ノ島	4	29		1	30		0		0	0		0		0	0	30
22	Tim Knight	猪苗代・英国	6	27		3	30		0		0	0		0		0	0	30
24	宇佐美 重則	稲毛	13	20		1	21		0		0	0	21	6		2	8	29
25	小林 昌弥	葉山		0		0	0		0		0	0	1	26		2	28	28
26	池内 敏	稲毛	7	26		1	27		0		0	0		0		0	0	27
26	石丸 寿美子	葉山	9	24	3	0	27		0		0	0		0		0	0	27
28	本吉 夏樹	葉山		0	26	0	26		0		0	0		0		0	0	26
29	平生 純一郎	稲毛		0		0	0		0		0	0	4	23		2	25	25
29	安澤 厚男	芦屋		0		0	0	4	22	3	0	25		0		0	0	25
31	臼杵 辰朗	大阪北港		0		0	0	6	20	3	1	24		0		0	0	24
32	勅使川原 智	葉山	21	12		0	12		0		0	0	18	9		2	11	23
32	井上 薫	葉山	10	23		0	23		0		0	0		0		0	0	23
34	山床 ひろ子	稲毛		0		0	0		0		0	0	10	17	3	2	22	22
34	田中 剛	葉山	14	19		0	19		0		0	0	26	1		2	3	22
34	石川 洋二	葉山	11	22		0	22		0		0	0		0		0	0	22
37	三輪 記裕	大阪北港		0		0	0	6	20		1	21		0		0	0	21
38	本間 威	葉山	17	16		0	16		0		0	0	9	18		2	20	20
38	朝長 直樹	稲毛	31	2		1	3		0		0	0	12	15		2	17	20
38	岸野 真	稲毛	31	2		1	3		0		0	0	12	15		2	17	20
38	相馬 大輔	葉山	25	8	3	0	11		0		0	0	20	7		2	9	20
42	山床 清	稲毛		0		0	0		0		0	0	10	17		2	19	19
42	角野 朋子	芦屋		0		0	0	7	19		0	19		0		0	0	19
44	多田 幸男	大阪北港		0		0	0	9	17		1	18		0		0	0	18
44	宮本 哲生	稲毛		0		0	0	11	15		3	18		0		0	0	18
46	有木 洋介	浜名湖	8	25		2	27	1	25		2	27	13	14		3	17	17
46	鈴木 文泰	葉山	27	6		0	6		0		0	0	18	9		2	11	17
48	川西 立人	浜名湖		0		0	0		0		0	0	14	13		3	16	16
48	藤井 孝明	葉山	17	16		0	16		0		0	0		0		0	0	16
48	田口 裕介	葉山	20	13	3	0	16		0		0	0		0		0	0	16
51	星野 直広	江ノ島	19	14		1	15		0		0	0		0		0	0	15
52	小林 通博	自宅(寒川)		0		0	0		0		0	0	15	12		2	14	14
52	植田 泰平	芦屋		0		0	0	12	14		0	14		0		0	0	14
54	渡辺 克充	芦屋		0		0	0	14	12		0	12		0		0	0	12
54	蜂須賀 強	浜名湖	23	10		2	12		0		0	0		0		0	0	12
56	玉置 淳	芦屋		0		0	0	15	11		0	11		0		0	0	11
56	山口 巖	葉山	22	11		0	11		0		0	0		0		0	0	11
58	久礼 嘉伸	葉山	27	6	3	0	9		0		0	0	19	8		2	10	10
58	吉田 麟太郎	芦屋		0		0	0	16	10		0	10		0		0	0	10
60	中西 英貴	芦屋		0		0	0	17	9		0	9		0		0	0	9
60	徳田 幹太	大阪北港		0		0	0	18	8		1	9		0		0	0	9
62	遠藤 宗翁	葉山	30	3		0	3		0		0	0	24	3		2	5	8
63	高山 勝	芦屋		0		0	0	19	7		0	7		0		0	0	7
63	長野 国比古	琵琶湖		0		0	0	20	6		1	7		0		0	0	7
65	酒匂 景康	葉山		0		0	0		0		0	0	23	4		2	6	6
65	千波 正隆	江ノ島	28	5		1	6		0		0	0		0		0	0	6
67	中村 博士	芦屋		0		0	0	21	5		0	5		0		0	0	5
67	田中 秀和	自宅(蒲郡)		0		0	0	23	3		2	5		0		0	0	5
69	肥後 秀明	稲毛		0		0	0		0		0	0	25	2		2	4	4
69	肥後 洋子	稲毛		0		0	0		0		0	0	25	2		2	4	4
69	金子 文雄	稲毛		0		0	0	25	1		3	4		0		0	0	4
69	金子 川三	稲毛		0		0	0	25	1		3	4		0		0	0	4
69	安原 実郎	葉山	29	4		0	4		0		0	0		0		0	0	4
74	掛川 宏	芦屋		0		0	0	24	2		0	2		0		0	0	2
75	杉浦 琴	葉山	32	1		0	1		0		0	0		0		0	0	1
76	関根 恒久	稲毛	1	32		1	33		0		0	0		0		0	0	0
76	瀧本 浩一	江ノ島	4	29		1	30		0		0	0		0		0	0	0

Events

イベント情報

日程

イベント名

場所

10 / 10 (土)	2004 年度年次総会 (新西宮ヨットハーバー)
10 / 09 (土) ~ 11 (月)	第 19 回全日本選手権 (芦屋) P6 参照
11 月	公式イベント実施予定 (場所未定)
2005 年 2 月	ミッドウィンター (稲毛)

イベントに関するお問い合わせ

JTA イベント担当 赤井まで
mail: event@tasarjapan.org

ただいま全日本選手権のエントリー受付中

<http://tasarjapan.org/events/2004/nationals/index.htm>

早期エントリー締切は 9 月末日です。お早めにお申し込みください。

久礼・金子・渡辺艇 葉山で進水式



レポート 葉山フリート 渡辺さおり

新艇 2768 は、葉山フリートの久礼・金子・渡辺の三人で共同購入し 2004 年 6 月 13 日に進水致しました！進水式を開いて下さった Sony Sailing Club の皆さんありがとうございました。(なぜか)赤ワインでお清めをし、真っ赤に染まったパウを見て、逆に不吉な気分になったのですが、無事に初セーリングを楽しむことが出来ました。新艇の感想は、軽い！！の一言でしょうか。そして、真っ白でピカピカのハルを見るたびにホレボレしています。せっかくこのような素晴らしい艇が手に入ったのですから、私達自身も腕を磨き、コンビネーションを高め、新艇に恥じない帆走りをしなければと思います。そのためにも、テザー協会のイベントに積極的に参加し色々勉強させて頂きたいと考えておりますので、皆様、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

私たち三人は 2005 年のダーウィン・テザーワールドに 2768 で乗り込み上位を目指します！

News!

ニュース

福岡・林杯ヨットレースに 関東から 2 艇が遠征！

7 月 25 日(日) 福岡市立ヨットハーバーでおこなわれた第 50 回林杯ヨットレースに 2 チームの遠征組と地元の 1 チームが参加しました。

前週に芦屋で開催された西日本選手権の後、稲毛の金子夫妻組、葉山の本吉/関口組が、そのまま福岡までカートップで遠征。地元からは福岡転動の際テザーと一緒に赴任し、小戸に活動の拠点を移した加野さんと葉山から駆けつけた久礼さんがコンビを組み、3 艇のテザーが地レースとして名高い林杯ヨットレース(能古島を一周する名物レース)に参加しました。



大遠征をした 2 チームのそれぞれのセールトリップのレポートは P 15 に掲載しました。

第19回レーザー級全日本選手権大会

Notice

レース公示

2004年10月9日(土)～11日(月)の3日間、兵庫県立海洋体育館
(芦屋マリンセンター)にて第19回レーザー級全日本選手権大会が開催されます。

ただいまエントリー受付中です。
詳細は <http://tasarjapan.org/events/2004/nationals/index.htm> にて

実施要綱

- 主催 日本レーザー協会
- 公認 (財)日本セーリング連盟
- 後援 兵庫県立海洋体育館、兵庫県セーリング連盟、奈良県セーリング連盟、芦屋ヨット協会、レーザー大阪北港フリート、レーザー芦屋フリート
- 協力 レーザー芦屋フリート、芦屋ヨットクラブ、斑鳩ヨット部OB会、芦屋セーリングクラブ
- 大会役員
大会会長 日本レーザー協会会長 本吉謙治
レース委員長 石崎五一郎(奈良県セーリング連盟理事)
レースオフィサー 石崎五一郎(奈良県セーリング連盟理事)
プロテスト委員長 中野佐多子(奈良県セーリング連盟理事)
プロテスト委員 木村治愛(日本レーザー協会会長)
中野鉄芳(レーザー芦屋フリート)
実行委員長 安澤厚男(奈良県セーリング連盟副会長)

- 開催場所 兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)
<http://www.pure.ne.jp/~kaiyou/>
- 開催期日 2004年10月9日(土)～11日(月) 体育の日
- 競技種目 レーザー 級
- 日程

- 10月9日(土)
- 08:30～10:00 受付、計測
 - 10:00～ 開会式、艇長会議
 - 12:00 第1レース予告信号
第1レース終了後、引き続き1レース
 - 18:00～ パーティー

- 10月10日(日)
- 09:30 当日最初の予告信号
レース終了後、引き続き2レース
 - 18:00～ 日本レーザー協会会員総会
(新西宮ヨットハーバー 第一会議室)

- 10月11日(月) 体育の日
- 09:30 当日最初の予告信号
レース終了後、引き続き2レース
(13:30以降のスタートはしない)
 - 16:00～ 閉会式、表彰式

- 適用規則
2001～2004年国際セーリング競技規則(以下、規則という。)日本セーリング連盟規定、レーザークラスルール及び帆走指示書を適用する。チャーターボートについては、付則G3の規定により、艇の登録ナンバーと同一でないセール番号(ただし、他の参加艇のセール番号と重複しないもの)の使用を認める。本大会はカテゴリーAの大会にする。レーザークラスルールC.6(クルー重量)は適用されない。

- 責任の所在
本大会の主催者、関係団体及びレース委員会は、人員及び物件に対

するいかなる責任も負わない。また、スタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各艇にある。

- 参加資格
次の(1)～(3)の要件を全て満たすこと。
(1)2004年度のISAFの各国協会((財)日本セーリング連盟など)のメンバーであること。
(2)乗員のうち少なくとも1名が各国の2004年度のレーザー協会会員であること。
(3)指定された期日までに決められた方法で参加申し込みすること。

- 乗員の交替
1艇あたり3名もしくはそれ以上の乗員がレースに参加する場合には、受付時に各レースの乗員をあらかじめ登録することができる。

- 計測手続き
10月9日(土)8:30以降に行われる計測において、艇重量等の計測をエントリーナンバーから無作為に抽出した艇についてのみ実施する。レース委員会は何時でも再計測を行うことができる。艇重量の計測記録の有無は、日本レーザー協会メジャラー金子文雄:fumio.kaneko@nifty.ne.jpに問い合わせること。

- 帆走指示書の交付
兵庫県立海洋体育館に設置される大会本部にて9日(土)8:30～の受付時に交付される。

- 帆走すべきコース
内角が60°の「風上・風下・トライアングルコース」を用いる。廻航方法等は帆走指示書で示す。

- 参加申込
次のいずれかの方法で申し込む。
 - オンラインエントリー
 - 所定の申込用紙をプリントし必要事項を記入の上、申込み先にFAXもしくは郵送する。
 - 申込用紙の内容を申込み先にE-mail

- 参加料
1艇18,000円(2名のレセプション費用を含む)とし、受付時に徴収する。2名を超える乗員や関係者も、3,000円/人を支払うことでレセプションに参加できる。

- 艇の持込み料
艇を持込む場合には、施設利用料として1艇あたり3日間2,250円を受付時に徴収する。

- 参加申込期限
2004年9月30日(木)とする。
これ以降のエントリーについてはレイトエントリー費(2000円)を支払うことで受付できる。
〔レイトエントリーの申し込み期限 2004年10月9日10:00〕

(4) 参加申込先

〒545-0037 大阪市阿倍野区帝塚山 1- 23- 14
株式会社 アスキー内 安澤 厚男
Tel : 06-6659-3416 Fax : 06-6655-3644 携帯 : 090-3716-9755
E-mail : ashiya@tasarjapan.org

18. レース及び得点方法

- (1)本大会は2 レース以上行われれば成立とする。
- (2)シリーズでは規則付則 A に規定された、低得点方式を用いて得点を記録する。ただし、実施されたレースが4 レース以下のときには最も悪い得点を除外しない。これは、規則付則 A2 を変更するものである。

19. 賞

総合1～6位に賞を授与する。また、マスタークラス(乗員の合計年齢が80歳以上99歳以下) グランドマスタークラス(乗員の合計年齢が100歳以上119歳以下) スーパーグランドマスタークラス(乗員の合計年齢が120歳以上)のそれぞれ1位に賞を授与する。これらのクラスは行われたすべてのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。該当者がいない場合には賞は省略される。主催者はこれ以外の賞を設ける場合がある。

兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)

<http://www.pure.co.jp/~kaiyou/>

アクセス

【車で】

阪神高速道路

3号神戸線西行は「芦屋」、東行は「深江」出口より、国道43号線打出交差点を南へ1.2km

阪神高速道路

5号湾岸線西行は「西宮浜」、東行は「南芦屋浜」出口より、側道(573号線)を進行し、打出浜線浜風大橋を左折1km

【電車で】

阪神電車「打出(うちで)駅」より徒歩12分

阪神電車「芦屋駅」、JR「芦屋駅」、阪急電車「芦屋川駅」より、それぞれ阪急バスで「芦屋浜営業所」または「新浜(にいはいま)町」下車、徒歩5分

宿泊先のご案内

各自でお問い合わせください。

ホテル 旅館名	電話番号 FAX番号	住所 交通案内	収容人数	駐車料金	料金
ホテル 中寿美花壇	0798-74-6121 0797-71-1855	西宮市新甲陽5-2 阪急甲陽園駅 南東 7分	15室 48名	15台	素泊 ¥5,000～ 全室BT付
東口旅館	0798-22-1198 0798-26-5447	西宮市池田町3-8 JR西宮駅 南西 4分	15室 45名	6台 ¥500	素泊 ¥5,000～ エレベータ有
旅館 志ぐれ	0798-22-3554 0798-33-3272	西宮市津門西口町2-25 JR西宮駅 南 5分	17室 35名	7台 ¥600	素泊 ¥5,500～
池田旅館	0798-67-3208 0798-67-3208	西宮市北口町11-24 阪急西宮北口駅 北東 3分	8室 20名	2台 ¥600	素泊 ¥5,500～ 朝食付¥5,800
ホテル 千歳	0798-33-0339 0798-33-2717	西宮市今津水波町2-2 阪神今津駅 南出口前	10室 17名	3台 ¥700	素泊 ¥5,500～ 和室3部屋有
鳴門旅館	0798-67-2509 0798-67-2509	西宮市甲子園口3丁目40-9 JR甲子園口駅 南出口 西スグ	11室 30名	3台 ¥500	素泊 ¥5,500～ トイレ付有
綱引旅館	0798-47-0991 0798-45-1225	西宮市甲子園町25-13 阪神甲子園駅 南 7分	10室 35名	4台 ¥600	素泊 ¥5,000～ 相談応じます
ホテル タ立荘	0798-47-0185 0798-47-0188	西宮市甲子園7番町19-3 阪神甲子園駅 南ヘスグ	35室 80名	12台	素泊S ¥7,000～ エレベータ有
やっこ 旅館	0798-47-2500 0798-41-0222	西宮市甲子園7番町5-19 阪神甲子園駅 東ヘスグ	12室 55名	10台 ¥500	素泊 ¥5,500～ 宴会室5室有
旅館 水明館	0798-47-2500 0798-47-2887	西宮市小松南町1-14-24 阪神武庫川駅 北西 2分	21室 55名	7台 ¥700	素泊 ¥5,000～ 団体相談応じます
旅館 尼宝館	06-6411-2725 06-6411-2726	尼崎市南竹谷町2-85 阪神出屋敷駅 南出口 1分	8室 40名	7台 ¥800	素泊 ¥6,500～ 2食付¥9,000～
旅館 御影荘	078-851-7363 078-811-8084	神戸市東灘区御影町群家上山田90-3 阪急御影駅前	14室 80名	5台 ¥1,000	素泊 ¥6,500～ ビジネス朝付¥7,000
芦屋はまゆう	0797-31-3844	芦屋市西蔵町11-1 海技大学校 北2分			2食付 ¥5,000-
尼崎セントラルホテル	06-6411-5000 06-6411-1010	兵庫県尼崎市昭和南通4-30 阪神尼崎駅より徒歩3分	185室 206人	13台 ¥1,000	朝付 ¥6,900-
ホテルニューアルカイツ	06-6488-7777 06-6488-0700	兵庫県尼崎市昭和通2-7-1 阪神尼崎駅より徒歩5分	185室 250人	118台 無料	朝付 ¥9,700～

西日本選手権

浜名湖の長谷川・有木組

強風レースで完勝！

7月18日(日) 芦屋にて西日本選手権が開催されました。琵琶湖、大阪北港などの関西圏より5艇、浜名湖、葉山、江ノ島、稲毛からの遠征組10艇に加え、10月の全日本開催で盛り上がりを見せる地元芦屋や西宮から10艇の、参加艇

は計25艇となり、賑やかな顔ぶれとなりました。

朝から強いガストが入るタフなコンディションの中、浜名湖の長谷川/有木組が得意の強風で安定した走りを見せ、全3レースをトップフィニッシュし圧勝しました。

今年の西日本選手権は梅雨明けの記録的な炎天下が続く7月18日に開催、全日本選手権の会場ともなる芦屋マリセンターには全国各地フリートから25艇が集まった。

私は、土曜日の昼過ぎから仕事があったので、

午前中に、船を車に乗せて準備万端、そのまま車で仕事場へ・・・住宅の新築祝いにお客様宅へ向うといきなり浴びるような酒盛り攻撃・・・ちょっと挨拶のつもりが・・・自宅までかなりの距離だったので代行を呼ぶのもつらい・・・

結局夜中に開放されたが、遅かったので事務所の床に船のオーニングを布団にして3時まで仮眠、4時にクルーの有木と待ち合わせをして、浜松を出発・・・やっぱり道中の高速は眠い眠い、今ま

で一番辛かったかもしれない・・・何度もSAに寄り、到着時間を気にしつつフラフラで西を目指した。こりゃ、せっかくのレースも体調不良で散々な～と思いハーバーに到着すると、なんと吹いているじゃないですか、風が・・・！

奇跡は始まる。

第一レースは予定の10:00にスタート、西寄りの風7～8m/s比較的波の高いチョッピーな海面。強風コンディションが大好きなので、思わぬチャンスに帰りのための余力も気にせず俄然テンション高くなる。我々長谷川・有木

フィニッシュした。

14:00を過ぎていたので、そのままレース終了か？あまりの疲れと優勝の期待で、ハーバーに船を向けたが第3レースがスタート・・・マジッ！レースが始まるとトップに踊っ

たのが本吉・関口組、我々は出遅れ1上マークを10位付近で回航。途中、腕がつかるので、フルハイクのクルー有木に見えないように、片手を休ませつつ徐々に艇速を武器に最終下マークを3位で通過、最終上りコースで、風の振れを読みナイスコース取り！逆転トップフィニッシュ！続く2位に本吉・関口組、いい位置にいた宮本・大藪組はリコール、3位に池田・秋吉組が入った。



なんと初タイトル！

浜名湖フリート 長谷川勝啓

なんと初タイトル！しかも全レースストップ！

組はスタートでうまく飛び出し、終始リードを保ちトップフィニッシュ。伊藤・小松組が2位に、続く宮本・大藪組が3位となった。

第2レースも我々は第1マークで10艇身以上のリードをゲット、時間的にこれで最終レースかな～と思い、ガンガンメインシートを激しくトリム、そのままフィニッシュ。2位に池田・秋吉組が

参加した多くの艇は、強風と高波で艇のバランスが取れず思い通りの走りができず大変だったと思います。

優勝の余韻にひたりながら言うまでも無く、帰り高速でも睡魔とのバトルが続くのでした。

6年ぶりのレース

芦屋フリート 高山 勝

7月18日(日)、妻の弘子と共に1998年以来6年ぶりにテザーの公式レース、芦屋市兵庫県立海洋体育館で開催された「西日本選手権」に参加させていただきました。

99年、00年は日本を離れていたこと、帰国後の01年7月には12年ぶりに第3子(長女:初穂)が誕生したお陰で、テザーのセーリングの方は3年間の「育児休暇」となっていました。

漸く、長女が3歳になったことをきっかけに、レースに復帰することとなりました。レース当日は長男(栄:18歳)に長女の育児(ベビーシッター)を任せて、夫婦で参加することができました。

今年4月、琵琶湖から艇(2616)を芦屋フリートに移動して、月に1度、自宅のある京都から芦屋に「遠征」し、少しばかりは練習をして臨んだのですが、当日のウィンド・コンディションは「芦屋での西日本選手権は吹く」というジンクス通りの「強風」。久々のレース・コンディションとしてはタフなものとなりました。スタートでは、他艇とのトラブルだけは避けよう(迷惑だけは掛けまい)と

ラインから離れてのスタート。皆、リキが入っていたせいか、ゼネリコを繰り返し、こちらはスタート前に体力を消耗。私は日頃、レーザに乗っていたのですが、妻はここ3年間育児に専念していたので、セーリングは全くのブランクであったにも拘らず、見事なクルワークをこなし、第1レースは沈をすることもなく、“下位”でフィニッシュ。最下位でなかったことに安堵。

一時風がおちたものの、第2レースも次第に吹き上がってきて、強風でのスタート。途中、リタイヤを覚悟しながらも最後の上りレグ。妻の体力消耗も激しく、トラブル回避のためあってタックの回数を減らしてのコース取り。ラストタックでブームパンチを浴びて、周りに第1レースと同じ顔触れの艇を見ながらフィニッシュ。

第2レースのフィニッシュ直前、「久しぶりのレースなので、これ以上無理はしない」という妻との約束により、第3レースは回避。最終レースでは風がかなり落



ち、「琵琶湖の微風育ち」の私にとっては、後ろ髪を引かれながらも、10月に芦屋で開催される全日本に期待しながら、ハーバーへと帰途に着く。

最終レース終了後、ハーバーでは懐かしの99年メルボルンワールドのTシャツを着た金子さんと談笑したり、本吉会長に挨拶を交わしていると、「素敵なプレゼント」を頂戴してしまいました。それは6年ぶりに参加したレースのニュース原稿を書くというもの。最後に、この誌上をお借りして、ペパーミントグリーンの艇(2616)高山チームの今年からのレース復帰と芦屋フリートへの移動を報告させて頂きたいと思います。これからもテザー協会、芦屋フリートの皆さん、宜しくお願いします。

西日本選手権に参加して



葉山フリートDYC天田です。今年のスプリングレガッタの本部船運営から参画させていただいております。今回急遽DYCの先輩方にアレンジいただき、宮下さんのクルーとしてエントリーさせていただく運びとなりました。

テザーのテの字も理解出来ていない私ですが、レース前日より宮下さんに基本動作を中心にご指導いただき当日を迎えました。レース当日は8M程吹いており、終始緊張しっぱなしでした。3レース目は肉体的に参っていたのが本音

葉山フリート 天田 和伸

です。総合結果8位という事で、全レース前後入り乱れての展開で、本当に全てが勉強材料となり得る貴重な経験となりました。そして何よりもテザークラスの全国各フリートの方々のテザーに対する思い入れや、懐の深さに感動いたしました。

今後もこのクラスを盛り上げる一員としてレースや運営に参加させていただけたらと存じます。ありがとうございました。

2004年度 テーザー級西日本選手権

2004年7月18日 芦屋

Pos	Sail No	Fleet	Skipper	Crew	R1		R2		R3		Total	
					着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	2657	浜名湖	長谷川 勝啓	有木 洋介	1	1	1	1	1	1	3	
2	2395	葉山	本吉 讓治	関口 真秀	6	6	3	3	2	2	11	
3	2725	大阪北港	池田 俊則	秋吉 寿美子	8	8	2	2	3	3	13	
4	2670	芦屋	内村 祥史	安澤 厚男	4	4	5	5	4	4	13	
5	2661	葉山	伊藤 雄一郎	小松 充	2	2	6	6	6	6	14	
6	2743	大阪北港	白杵 辰朗	三輪 記裕	5	5	8	8	5	5	18	
7	2660	芦屋	下村 晃司	角野 朋子	9	9	12	12	7	7	28	
8	2709	葉山	宮下 知之	天田 和伸	7	7	10	10	11	11	28	
9	2653	大阪北港	多田 幸男	入村 じゅんこ	11	11	11	11	8	8	30	
10	2396	葉山	山本 晴之	中島 玲子	15	15	7	7	9	9	31	
11	2735	稲毛	宮本 哲生	大藪 亮	3	3	4	4	OCS	26	33	
12	2705	芦屋	植田 泰平	神津 徳長	14	14	15	15	10	10	39	
13	2707	浜名湖	白岩 道孝	白岩 恵美子	12	12	16	16	12	12	40	
14	2555	芦屋	渡辺 克充	厚地 則和	13	13	14	14	14	14	41	
15	2457	西宮	玉置 淳	岡部 哮	16	16	13	13	13	13	42	
16	2688	芦屋	吉田 哲郎	吉田 忠史	吉田 麟太郎	10	10	9	9	OCS	26	45
17	2764	芦屋	中西 英貴	青山 浩	19	19	20	20	15	15	54	
18	2202	大阪北港	徳田 幹太	吉村 均	20	20	19	19	17	17	56	
19	2616	芦屋	高山 勝	高山 弘子	18	18	18	18	DNC	26	62	
20	2723	琵琶湖	長野 国比古	安田 寛	21	21	DNS	26	16	16	63	
21	423	西宮	中村 博士	足立 頼彦	22	22	17	17	DNF	26	65	
22	2294	江ノ島	村尾 隆	津田 展明	17	17	DNS	26	DNF	26	69	
23	2210	稲毛	田中 秀和	田中 勉	23	23	DNF	26	DNC	26	75	
24	2534	芦屋	掛川 宏	上山 善生	田尻 威巳	24	24	DNS	26	DNF	26	76
25	2676	稲毛	金子 文雄	金子 ルミ	DNC	26	DNC	26	DNC	26	78	



ミッドサマーレガッタ

風待ち、ゼネリコ、超微風… 1レースのみで決着



August 21-22 2004, Lake Inawashiro
photo by Kiwamu Ishimura

葉山の小林夫妻・岡組が優勝

8月21日(土)～22日(日)の2日間、福島県猪苗代湖にてミッドサマーレガッタ兼東北選手権が開催されました。磐梯山をのぞむ素晴らしいロケーションのもと、例年どおり猪苗代国際オープンヨットレースへの参加という形でおこなわれました。ここ数年はテザーの参加艇が増え続けているミッドサマーレガッタですが、今年は大坂北港からは

ばる遠征した池田/秋吉組なども加わり26艇がカートップで大集合しました。

今年は微風に泣かされるレースとなり、初日に1レースが成立したほかは長い風待ちとなる2日間でしたが、コース選択で勝機を得た葉山の小林(昌)/小林(友)/岡組が唯一成立したレースでトップフィニッシュを果たし優勝しました。

我が家の夏の一大イベント「ヨット & 虫取り」！

葉山フリート 小林 友子

我が家の夏の一大イベント「ヨット & 虫取り」に行ってきました。



ヨット編

勝ち取った優勝！という感じではなく運良く優勝してしまいました。

風に恵まれず、2日通して1レースのみレガッタでした。風待ち状態で2時間ほど過ぎ、いよいよスタート。最初のス

タートは上有利の中、真中あたりからスタート。でもこれはゼネリコでした。アウターを打ち変え、今度は下有利で再スタート。スキッパーさんは気合十分！スタートはうまく行きました。運が良かったのはここからだったかも。大きい船が後ろからやってきた中、ちょうど邪魔されずに微風の中、いい風に乗れました。レースは終始微風。ポイントは我慢することと機嫌良く過ごすこと。最終マークは4位で通過。マーク回航後、前の3艇が左海面でレースを展開する中、我々さくらは先行艇に押さえられずに一発勝負の右海面を選びました。あとは運良く風が振れ、ちゃっかりファーストフィニッシュでした。

虫取り編

今年の猪苗代は朝晩冷え込み、日中も去年のようにトンボはほとんど見当たらず虫取りの季節が終わっていました。それでも毎朝6時起床でカブトムシを探しに出かけ、生き残りカブトムシ2匹をGetしました。楽しい夏休みでした。来年もがんばるぞー。



2004年度 テーザー級ミッドサマーレガッタ

2004年8月21～22日 猪苗代湖

Pos	Sail No	Skipper	Crew		R1		R2	R3	R4	R5	Total
					着順	得点					
1	2671	小林 昌弥	小林 友子	岡 誠	1	1					1
2	2765	田中 郁也	田中 紀子		2	2					2
3	2395	本吉 譲治	関口 真秀		3	3					3
4	2669	平生 純一郎	平生 玲子		4	4					4
5	2725	池田 俊則	秋吉 寿美子		5	5					5
6	2709	野嶋 嘉昭	天田 和伸		6	6					6
7	2575	山本 晴之	中島 玲子		7	7					7
8	2593	井上 誠一	亀山 寛達		8	8					8
9	2748	本間 威	石原 裕二		9	9	/	/	/	/	9
10	2073	山床 清	山床 ひろ子	吉田 順一	10	10	+	+	+	+	10
11	2621	山下 栄輝	山下 陽子	瀬能 朋子	11	11	+	+	+	+	11
12	2245	朝長 直樹	岸野 真		12	12	レ	レ	レ	レ	12
13	2657	有木 洋介	鈴木 恵理		13	13	+	+	+	+	13
14	2716	川西 立人	伊藤 博美	中村 繁美	14	14	ス	ス	ス	ス	14
15	2565	小林 通博	真船 琢至		15	15					15
16	2661	小松 充	伊藤 雄一郎		16	16					16
17	2294	村尾 隆	津田 展明		17	17					17
18	2453	勅使川原 智	鈴木 文泰		18	18					18
19	2768	久礼 嘉伸	金子 直樹	渡辺 さおり	19	19					19
20	2708	相馬 大輔	中島 信明		20	20					20
21	2730	宇佐美 重則	小田倉 里美	谷口 英明	21	21					21
22	2552	外石 満	梅田 哲士		22	22					22
23	2609	酒匂 景康	大橋 武史	野本 雅史	23	23					23
24	2563	遠藤 宗翁	柳原 伸一		24	24					24
25	2458	肥後 洋子	肥後 秀明		25	25					25
26	2203	田中 剛	三浦 継治	多井 堅一郎	26	26					26





新連載

スマートレースのススメ

第1回 艇が出会った場合・マークタッチ・スタートのペナルティ

Text by Ikuya Tanaka

ルールを正しく理解した上でのフェアプレー

レースの主役はセーラーであり、レースの善し悪しにおいて、セーラーが楽しめたかどうかということが大事なポイントになります。レースの楽しさを左右する要因は大きく3つあると思います。

1つめは天候、コンディションです。セーリングは自然相手のスポーツですからこれは自然にまかせるしかありません。2つめはレース運営です。全てのセーラーに公平であり、セーリング競技規則(以下、RRS)に則った運営が求められます。スタートラインやマークの設定を確実にし、信号などの手順を間違ふことなく行うことがレース運営のポイントだと思います。

そして、3つ目がセーラーのマナーです。レースに出て、船をぶつけられたり、ルール違反を犯した船がペナルティを履行しなかったりしたら、とてもいやな気持ちになると思います。ここで言うマナーとはRRSを正しく理解した上でフェアなレースをし、違反を犯したならば自分の意志でペナルティを履行することの意味で使っています。私はテザーのレースがこれまでも増して楽しいものとなり、テザーが今後とも発展を遂げていくためにはセーラーのマナー向上が重要だと考えています。そのための一助となればと思い、連載の執筆を引き受けました。

私はジャッジ等の資格を持っていますが、ジャッジやレース運営の経験がそうあるわけでもありませんし、RRSをすみずみまで理解しているわけでもありません。この連載では、レーサーの立場からここは知っておいた方がいいと自分なりに思うことを取り上げていきたいと思っています。

レースでこんなことがあったけど、こういう場合はどうなるの?といった質問は歓迎です。ルールの専門家に聞くなどして一緒に勉強していきましょう。ルールは4年ごとに改定されています。特に97年は大幅な改正が行われています。知識をリニューアルしていくことはなかなか大変ですが重要なことです。ジャッジやレースオフィサーの資格を取得すると、RRSが改定される毎に更新のための講習会が開催されます。これらの資格を取得することは、自分自身の知識を最新の状態に保つために大変役立ちますので、関心のある方はこれらの資格をとられることをおすすめします。

さて、連載の1回目はRRS第2章(艇が出会った場合) RRS31(マークとの接触)に対するペナルティを取り上げます。今回の内容は6月に開催された江ノ島での練習会でやったルール講習会の内容に加筆したものです。

1. 規則違反に対するペナルティ

規則違反に対するペナルティについて大事な点を確認しておきましょう。

RRS第2章(艇が出会った場合)の違反に対するペナルティは、帆走指示書に特別の規定がない場合には720度回転のペナルティが適用されます(RRS44.1)。

重大な損傷を起こした場合、違反によって著しく有利になった場合(例:マーク廻航で大きな艇団の前に割り込み順位をあげたなど)にはリタイアしなければなりません(RRS44.1)。

航路権、ルームの権利がある艇にも限定的ではありますが接触を回避する義務があります。艇は常識的に可能な場合には他の艇との接触を回避しなければならないとされており(RRS14)、航路権を持つ艇も損傷を引き起こさないよう最後には接触を回避する行動をとる必要があります。

720度回転のペナルティはケースのあとできるだけ早く、他の艇から十分離れて、2回のタックと2回のジャイブを含む完全な360度を2回行う必要があります(RRS44.2)。

マークとの接触は360度回転を行います(RRS31.2)。

マークと接触したことにより、著しく有利になった場合にはケースの場合と同様にリタイアしなければなりません(RRS31.2)。

同一のケースでマークと接触した場合には720度回転とは別に360度回転を行う必要はありません(RRS44.4(a))。

ペナルティの回転を行っている艇は、そうでない艇を避けなければなりません(RRS20)。この規則が適用されるときにはポート-スターボ、上下などのRRS第2章A節の規則は適用されません(D節前書き)。だから、他の艇から十分離れてペナルティを行う必要があります。

ペナルティの回転を行っている艇を遅らせる目的で、故意に妨害してはなりません(RRS22.2)。

2. スタート前のマークタッチとペナルティ

以下の問にYES or NOで答えましょう。

(1) マークタッチ

Q1: スタート予告信号後、準備信号前にスタートマーク(アウター)に接触した。ペナルティの履行は必要か?

(RRS31.1、レース中の定義)

NO 準備信号以前はレース中ではありませんからペナルティの履行は不要です。

Q2: スタート準備信号後にスタートマーク(本部船)に接触した。ペナルティの履行は必要か?(RRS31.1、レース中の定義)

YES 準備信号後はレース中です。本部船もマークです。本部船のアンカーラインはマークではありません。

Q 3 : スタート準備信号からスタート信号の間および第1レグ帆走中にスタートライン近傍に設置されていた第3マークに接触した。ペナルティの履行は必要か？(RRS31.1)

NO 帆走中のレグの起点、末端となるマークとは接触してはならないとされており、スタート前、第1レグでは第3マークはマークではありません。単なる障害物です。

Q 4 : スタート準備信号後に本部船のアンカーラインに引っかかった。ペナルティの履行は必要か？(マークの定義)

NO アンカーラインはマークではありません。

Q 5 : 準備信号後のマークタッチのペナルティはスタート信号後に行う必要があるか？

NO スタート前でOKです。

(2) スタートのペナルティ

Q 6 : ラウンド・アン・エンド規則(RRS30.1)は、スタート信号前の1分間にいったんスタートラインを出てもスタート信号時にプレスタートサイドに戻っていればペナルティは生じない。

NO ラウンド・アン・エンド規則はスタート前の1分間にコースサイドにでた場合のペナルティです。一旦出て、戻ったとしてもペナルティの履行が必要です。

Q 7 : ラウンド・アン・エンド規則でのスタートラインのエンドの回り直しはスタート信号後に行う。

NO スタート信号まで待つ必要はありません。

Q 8 : 20%ペナルティ規則(RRS30.2)が適用されているスタートで、スタート信号時に艇体等の一部が出ていた場合にはリコールの解消が必要である。

YES 20%ペナルティはスタート前の1分間にコースサイドに出たことに対し、余分に加えられるペナルティです。スタート信号時にでていた場合には通常のスタートと同様に個別のリコールとなりますので、リコールの解消が必要です。もし、解消しなければOC Sとなります。

Q 9 : 黒色旗規則(RRS30.3)にひっかかった艇は、そのレースが再スタート、再レースになっても失格である。しかし、スタート信号前に延期又は中止された場合には失格とはならない。

YES 黒色旗規則が適用されるスタートで、ゼネラルリコールになった場合、スタート後に風向が大きな変化したり、無風になったりしてレースが中止になった場合にもそのペナルティは引き継がれ、次のスタート、再レースに参加することはできません。

Q 10 : 黒色旗規則にひっかかり、レース委員会にセール番号を掲示されていないがレースで帆走した場合には全レース失格となる(RRS30.3、RRS88.3(b)、「DNE」)。

NO この場合にはそのレースにおける失格の得点が捨てレースとして除外できない得点(DNE)となります。黒色旗規則が適用されたスタートが再スタートとなった場合、自分が危ないと思ったら必ず本部船に確認にいくようにしましょう。運営側は黒色旗規則が適用されたスタートがゼネリコ、再レースになった場合にはチェックした船のセール番号を必ず掲示しなければなりません。

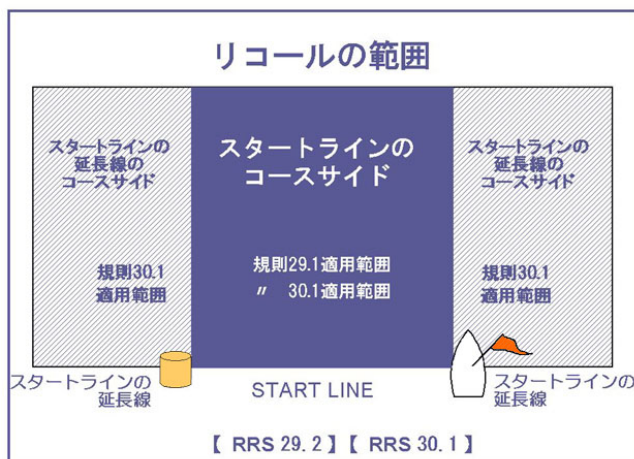
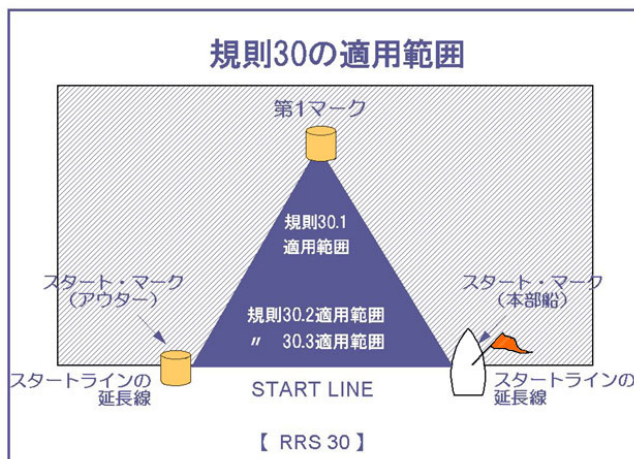
Q 11 : スタート信号後にリコールの解消のためにスタートラインに戻っている艇は、プレスタートサイドに完全に入るまではそうでない艇を避けなければならない(RRS20)。

YES この場合にはポート・スターボ、上下は関係あ

りません。下でフライングして、戻ろうとベアしたときに正面からポート艇がきたならば、思わずスターボ！といてしまいそうですが、戻っている船はそうでない船を全て避けなければなりません。

(3) RRS30の適用範囲、リコールの範囲

スタートのペナルティはRRS30にかかっていますが、よく読むとわかるのですが29.1(個別のリコール)、30.1(ラウンド・アン・エンド規則)、30.2(20%ペナルティ規則)、30.3(黒色旗規則)は適用範囲が違います。下の図で適用範囲を確認しましょう。



レースではルール違反を犯さないよう細心の注意が必要ですが、操船ミスや判断ミスは誰にでも起こりうることです。自分がルール違反を犯したと思えば、自分の意志で正しい方法でペナルティを履行し、気持ちのいいレースをしましょう！



田中 都也 Ikuya Tanaka

A級ジャッジ

ナショナル・レースオフィサー

福岡県出身 昭和39年11月3日生まれ

県立修猷館高校時代FJ級でヨットを始める。(インターハイ同期には、プロセラーの脇永達也さん、単独世界一周をした鹿児島今の今給黎教子さんなど)。大阪大学体育会ヨット部では470級インカレ団体戦3位。1993年9月に2572を購入し、妻紀子さんとテザーを始める。全日本93、95、96、01、03年優勝。世界選手権94年Brixham7位、96年Gorge18位、99年浜名湖2位、01年Whitstable23位。

クラスルール変更の投票結果

トップマストのサポート方法など5項目のクラスルール変更投票が7月1日から31日までの行われました。期間中の投票総数は34、うち有効数は31でした。会員数が7月末時点で77、投票率は40.3%となりました。投票の結果5項目とも賛成が過半数を超え、日本としては全ての項目で賛成と決しました。詳細は次の通りです。

提案1 a トップマストのサポート方法
(新ルール F.3.2)

(賛成 26 反対 5)

提案1 b ハウンドからデッキまでの計測3720mm以上(新ルール F.1.4 に続く)

(賛成 21 反対 10)

提案2 セーリング中のフォアステーとサイドステー全長の調節禁止(新C.8 安全)

(賛成 24 反対 7)

提案3 シュラウドブルバックの新システム(C.2.2(k)を改正)

(賛成 28 反対 3)

提案4 メインシートストラップの長さ240mm以上(C.2.3を改正)

(賛成 30 反対 0
無回答 1)

ただ、提案1 bのハウンドからデッキまでの計測については、3分の1が反対であったことは留意すべき点だと思います。反対の理由の中には、新しいマストサポート方法でも、トップマストがロアマストに食い込むのを止めることができないケースがあること、ワンデザインとしてバラツキのないパーツを供給することが先決であるといった意見がありました。

世界テザー協会がオーストラリア、日本、北米、ヨーロッパの投票内容を集計した結果、5項目全て賛成が70%を超えたため、今回のクラスルール変更提案は全項目が承認されました。この後、ISAFにクラスルール変更の承認を申請し、今年11月のISAF総会で承認されると、来年から新ルールが適用されます。

JTA メジャラー・金子文雄

Tasar Sailors

夏の旅しポート

四国・九州遠征旅行記

テザーカートップ 3000キロの旅

レポート： 金子文雄・ルミ

福岡のオープンレースにテザーで出てみないか？

今年初め、本吉会長から話があったとき、ある思いが浮かんだ。一度テザーをカートップして、故郷の高知の海でセーリングしてみたいと以前から思っていた。何もなければ高知へカートップして行くこともないが、九州へ行くなら途中寄れるかもしれない。しかも前の週に芦屋で西日本選手権があるのも好都合だった。

本当に行けるかどうか、日が迫ってく

るまで現実味がなかったが、どうしたわけかルミが行く気になって、一週間を切ってから急速スケジュールを立て始めた。7月17日の土曜日に稲毛を出発して芦屋へ行き、翌日の西日本選手権に参加。その後、明石大橋から淡路島経由で四国へ渡って高知の実家に帰り、夏休みを田舎でのんびり過ごす。高知からはフェリーで九州

へ渡り、湯布院の温泉で二泊したあと福岡入りという予定。

西日本選手権は体調が悪くてレースには参加できなかったが、高知では久しぶりの夏休みを満喫した。途中寄った夜須町は高知国体のヨット競技会場となつたところ。緑の芝生に全長500メートルのウッドデッキの遊歩道があり、すぐ前に海水浴場もあってヤ・シーパークと親しまれている。沖では470とレーザーが3艇ほど走っていたが、風が弱いのになぜか沈を繰り返してばかり。そうでもしないと南国のキラキラ太陽に焼かれてし

まうに違いない。高知から西へ100キロ程、四万十川にほど近い大方町がわが故郷。実家のある上川口は古くからの漁港で、ホウエールウォッチングの基地にもなっている。海で泳いだり、近くの川でエビを捕ったりしてのんびり過ごした。川の水の冷たさは昔のまま。昼間暑くても日が落ちると涼しくなり、クーラー無しで寝られるのがいい。この日、東京では39.5度を記録したとか。

漁港にはスロープもあってヨットも浮かべられるようになっているが、風がないのと、あまりの暑さで結局は車から降



ろさずじまい。故郷の風景に浮かべただけで満足してしまった。

大方町を出発して宿毛から大分の佐伯までフェリーに乗るつもりだったが、フェリー会社が倒産したらしく、動いていない。ショック。高知新聞にもフェリー会社が再建を断念という見出しが大きく出ていた。仕方がないので、宿毛から陸路愛媛県に入り、三崎からフェリーに乗ることにした。国道九四フェリーという小さなフェリーだ。四国から九州にかけて走っている国道197号線の海上部分をフェリーで結ぶという海の国道である。関サバ、関アジが泳ぐ豊後水道を渡って九州に上陸。大分の湯布院で2泊したあと、いよいよ福岡入り。

大学1年の夏にインカレで百道浜に来たことがあるが、福岡ドームやホテルが建ち並び光景からは当時の面影が見られない。浜浜で高速を降りてやっと小戸ヨットハーバーに到着。FJや470が熱心に練習していた。ここが田中郁也氏の育ったハーバーなんだ。ハーバーの2階で食事をしていたら、隣でセーリング教育に

ついて熱く語っている人がいた。後で聞くとハーバースターの三船和馬さんであった。小戸のハーバーは24時間自由に使うことができるらしい。自己責任の考え方が徹底しているようで、その分自前のレスキューボートも立派なものも多く、頼もしい限りだ。



そうこうしているうちに、テザーをカートップした本吉・関口チームがやってきた。芦屋から1週間のご無沙汰だが、初めて行く遠方の地での再会はちょっとした

感慨もの。まほろちゃんは芦屋からカートップしたまま一人気ままな旅行をしてきたという。大したもんだ。船を車から降ろしていると、立派な白い髭をはやした見るからにヨット乗りと分かる人が近づいてきた。福岡で昔からのテザーオーナーの大原さんだった。遠方から来た我々を嬉しそうに迎えてくれた。

いい風が吹いていたので、さっそく艦装して2艇で小戸の海を帆走ってみた。5~6m/sのシーブリーズの中を気持ちよくセーリングできた。明日のレースで回る能古島が思っていた以上に大きい。周囲20キロ、小学校もあるというではないか。ブイ代わりに回る小島程度に思っていたルミは、話が違わんじやないのと一人づつづつ言っている。1時間ほど練習してハーバーに戻ってきた。

ホテルにチェックインした後、地元の加野君、久礼君と落ち合って6人で夕食に行った。市場に近い食堂だけあって、魚の美味しいこと、ビールのうまいこと、しかも安いこと。遠征の楽

しみは実はこのあたりにあつたりする。全員幸せそうな顔をして夜が更けていった。

いよいよ能古島一周ヨットレースの当日がやってきた。エントリーはディンギーだけで100艇を超えている。クルーザーを加えると、参加者は400人を超す大規模な大会となった。50年前にヨットの事故で亡くなった高校生の林英男さんを偲んで、ご遺族が二度と事故が起きないようにと記念トロフィーを作って始まったレースだという。今年はちょうど50回目の記念大会で、スポンサーも付いて豪華賞品が用意されていた。参加チームの中には女子470でオリンピック代表を争った第一経済大の田端・栗田組も含まれていた。福岡は全国

的にもセーリングのレベルが高く、3艇のテザーが博多湾でどれだけアピールできるか。密かに期するものがあつた。

レースは11時20分スタート、能古島を反時計回りに1周してフィニッシュする。この日は昨日の西よりの風ほど吹いてなくて、最初は3~4m/s程度。スタートラインはアウター有利だが、島を回るコースとしては本部船側が近い。いずれにしてもポートスタートとなる状況。我々はややアウター側からスタートして即タックし、すでにオーバーセイル気味のポジションから落としながらスピードをつけていった。島のブランケットでフリートが失速し始めた。島の東の外側へ大きく伸ばした艇が新しい風をつかんで差を広げている。逆に極端に島へ近づいたグループも別の風を拾っているようだ。中途半端な位置にいた我々は完全に止まってしまった。能古島との定期船が近づいてくるし、先行艇からは置いて行かれるし、焦りが募る。10分ほど悶え苦しんで、微かに風の気配を感じて走り始めた。前にA級ディンギーがいるよ〜。

風は2m/sそこそこ。島へのアプローチを考え、タックを繰り返しながら島の北端をかわす。先行艇を少しずつ抜き、島の裏側でようやくアビームの風を受ける。スキッパーズミーティングで内側を通ってはいけないと言われた岩場の外側を抜け、ランニングでスタート地点を目指す。タイムリミットの2時間半を考慮してか、フィニッシュラインはやや手前に設けられていた。もどかしい思いでフィニッシュラインを切るとフォーンが鳴った。どうやらフリークラスではトップらしい。本吉・関口艇と加野・久礼組も立て続けにフィニッシュして、着順ではテザーが1、2、3位となった。

3時からのバーベQパーティーを楽しみにハーバーへ向かう。ようやく風が上がり始めた。振り返ってみると、シードスポーツやスナイブとは明らかにスピード差があり、彼らの視線を感じながら気分良く走ることができた。しかし470とは絡めず、スタート直後のブランケットが悔やまれる。それにしても、レース中はテルテールばかり見ていた気がする。せつかくの能古島の島の素晴らしい景色を堪能できなかったのはちょっとびり心残り。

表彰式での成績は期待していなかった通りの結果。フリークラスの優勝はあの



A級ディンギーだった。470はナショナルチームの田端・栗田組が賞禄の優勝。

パーベキューは400人分の胃袋を満たすほど大量に振る舞われた。賞品を全て配り終えるのに1時間以上もかかった。プレゼンターは地元RKBラジオの人気お笑いタレント。パーティーもレースと同じくらいウェイトが置かれ、パーベキューに遅れないようにフィニッシュするよう配慮されていた。パーティーで思いがけず懐かしい人に出会うことができた。稲毛で一緒に活動していた河野恭子さん。福岡でもヨットライフを楽しんでいるようで、昨年から福岡へ赴任中の加野君を紹介した。最後にテザーのメンバー全員で写真を撮って、またの再会

を約束した。

長い旅行が終わり、門司を夜8時出港のフェリーを目指して高速道路を飛ばした。瀬戸内海を走る夜のフェリーもいいものだ。真夜中に通過するしまなみ海道の橋を見て眠りについた。朝8時に大阪南港に入り、名神・東名を走って千葉の稲毛まで。走行距離は2300キロ。フェリーを加えると3000キロ近くになる。さすがに疲れはしたが、10日間のカートップ旅行は、ちょっとしたワールド遠征並の長い休暇になった。

当初の目的を達成できなかったものもあるが、無理せず成り行き任せも我々のスタ



イル。長くテザーを楽しむために、これからも新しい発見を求めて行きたいと思っている。

まほろってんの こんな旅が したかったの~♪ の巻

レポート： 関口 真秀

遠 征記を書くのは二回目ですが、今回は、ヨット乗って帆走ったとこじゃなくて、ヨット乗って走ったところを書きました。

ある日、スキッパーが言った。「まほろってん、西日本の後、フェリーでテザーを博多まで回航してよ。博多に友達いるんでしょ？一週間遊んでればいいじゃん。」？意味不明。なんで私が会社休んで、フネ運んで、そして遊ぶの？

話を聞くと、なんでも西日本の翌週に博多の小戸で行われるオープンレースに参加するため、フェリーでなくても、とにかく日曜までに車とテザーを博多に運ばばよいとのこと。・・・この話に私はうっとりしてしまった。私には昨年来計画していた旅のルート～電車・バス・フェリーでテザー仲間を辿り、関西・今治・宮崎旅行～があったのだ。しかし昨夏は今治と宮崎の都合がつかず断念していたのが、今回は荷物の運搬も楽な車で迎える。それも久々の一人旅。

そういうわけで、私の夏休みが決まった。テザー西日本選手権(芦屋)～林杯ヨットレース(博多)二週連続アウェイレース参加の遠征夏休みだ！

西日本選手権終了後、テザーを積み、みんなと別れて、私はまずしまなみ海道

を目指した。

しまなみ海道は、広島県の尾道から愛媛県の今治までの島々を結ぶ、新しい本州四国連絡橋道路だ。しまなみ海道のちょう

ど真ん中に位置する大三島へと向かう。瀬戸内海は有人・無人の大小様々な島々が無数にあり、潮のきついぶん海水はとて

も澄んでいて、タイムスリップした様な穏やかな景色が本当に美しい。島の山の緑はみかん畑やレモン畑、のどかな漁港と行き交う漁船や渡船、そしてまっ青な空と海。そしてそれと全く対照なしまなみ海道という日本の建設技術が集約された道路。人工的な破壊と建造により私が見ることが出来た風景に複雑な想いを馳せながら、せめてこの美しい自然に畏敬する心だけは忘れないうようにとエコドライブを心がける。

島に到着すると、そんな美しい瀬戸内海を展望できる露天風呂(温泉)つきプールを発見し、一泳ぎ&一風呂浴びて、美しい夕焼けを眺め、ビールをプハア～～と幸せを満喫。この日の宿は島の漁港そばの民宿で、魚尽くしの晩ご飯を食す。本日の水揚げはおこげがナンバーワンだったらしく、刺身・焼き・煮・揚げ魚の全てがおこげだった。

翌朝、同じ民宿に宿泊していた方がヨットを乗せた車と、能天気に着にビーチサンでうろうろしている私を見て、声をかけてくれた。なんでも鹿児島で空手をなさっている方だそうで、瀬戸内の島々をの



んびり旅しているとのこと。一人旅&スポーツ繋がりですっかり打ち解けた。お互いに旅の無事を約束して別れ、私はまず大三島を一周することに。大三島はしまなみ海道の中でも大きい島で、一周する間には様々な島の景色を楽しむことができた。島のしまなみ海道のICから逆の側は、以前のままの瀬戸内海の風景が広がっていた。この瀬戸内海の真ん中で海水浴をしよう！と思っていると、誰も泳いでいない白砂のビーチを発見。しかし、浜をトラクターでお掃除している島のおじさま方が・・・。海水浴客は誰も居なくとも、ここで一人でキャピキャピ泳ぐのは気がひけるなあ、とスグスグ退散し、とりあえず四国に渡ることにして再びしまなみ海道をドライブ。世界初の三連吊橋である来島海峡大橋を渡った。(これで私の明石海峡大橋・瀬戸大橋・来島海峡大橋の本四橋制覇の目標が達成された。)

地図上の今治半島にビーチマークを発見し、本日の海水浴場をロックオン。ビーチを見つける嗅覚を頼りに行く道

は、対向車来たら何キロバックしなければならぬか、というくらいの狭さ。昼間でも暗いほど木々の深い森の道で、垂れた木の下を通るたびに「ハルニキズツケチャッタラゴメンナサイ」を唱えて走り抜け、着いたところは、



「キヤーー！！」

思わず絶叫してしまった。誰もいない美しいビーチ！！生まれて初めての全裸で海水浴が、とそわそわしていたら人が来てしまい、辛くも断念。仕方なく水着で海に飛び込む。遠くまで見通せる海の中は穏やかな別世界で、このまま溶けてしまいたいくらい本当に気持ちがいい。海で泳いであがって日焼け、泳いで日焼け、を繰り返している内に、塗る日焼

け止めを間違えたことに気付く。焼かない用を塗ってしまった。全裸も出来ず日焼けも出来ず無念だが、今晚は温泉だからあまり焼くとしみちゃうから、と気を取り直す。「東京からですか？このビーチ、よく分かりましたね。」「これはヨットですか？」

と声をかけてくれる地元の方もいて、なんだか楽しいヨット乗って一人旅。これで一人でフネを降ろして出艇出来たら言うことないのになあ。気付いたら再び誰もいなくなり、私も本日の宿泊地、松山・道後温泉を目指す。松山市内路面電車体験、美しい夕焼け、美味

しい地ビール、四国に行ったらうどん、そして勿論温泉。地ビールの途中で大三島でお友達になった空手のおじさんから電話が入る。今、小豆島でビールを飲んでいるのだが、目の前の海でヨットの練習をしている人たちがいて、何度も沈をしているとのこと。ヨットを見て私に電話してきてくれたのだ。旅の出会いで嬉しい電話をもらった。帰ったら手紙を書こう。

翌朝、顔を洗って驚いた。毎日入ってい

る温泉のせいか、ストレスフリーな旅のおかげか、肌がつるつるなのだ。この生活は若さを保つ秘訣かも！としばし喜びに浸る。しかしこの日は高速道路を使わないで300km以上移動する日のため、とにかく先を急ぐ。午前には目指すは四国最西端の佐多岬。右手に瀬戸内を眺めながらいくつもの小さな漁港を通り抜け、八幡浜を過ぎてからは尾根伝いの道に入る。山の上に風車（発電用の大きなもの）、眼下右には瀬戸内の伊予灘、左は宇和海の三崎灘を展望できる“メロディーライン”だ。県外ナンバーの車はほとんど見られない佐田岬半島を品川ナンバーがヨットを乗せてブンブン走る。（翌日は千葉ナンバーの金子さんがブンブン走った。）人はどこにでも住んでいて、どこにでもコココーラの自販機があって、舗装された道を私はどこまでも走って行ける。先人は大変な思いでこの道を切り開いたのだろうに、人間って貪欲ですごいな、とどこを旅しても言う同じセリフをここでもつぶやいてしまった。三崎港を過ぎて走ること20分、佐田岬灯台駐車場に到着。ここから灯台までは小山を二つ越えて徒歩20分1500mと標識にあり、虫除けスプレーをし、帽子かぶり、長袖とペットボトルを持って

のミニハイキングとなった。山を歩いているのに大嫌いなフナムシがいて、虫の声が止むと波の音が聞こえる森の小道は、異次元空間への入り口のような。そして森を抜けると目の前には灯台がそびえていた。灯台からは関アジ関サバ（岬アジ岬サバ）で有名な豊予海峡を展望でき、その向うは大分県・佐賀関。



これから渡るこの海に、美味しい鰹や鯖がいっぱい泳いでいるんだなあ・・・と感慨に浸り、本日のランチは大分に渡ってから関アジを食べることを決意して、再び三崎港まで戻った。

フェリーの女性客は私のみだった。周りから見ればヨットをカートップしている怪しげな女だったのだろう。甲板で写真撮っていると、乗組員に声をかけら

れ、操舵室へ招待された。「車に積んでいたのはヨットですか？」と言われたことから察するに、乗る時からマークされていたらしい。コーヒーをご馳走になりながら、私は旅の話をし、クルーの方々からは関アジ・関サバと普通のアジ・サバとの見分け方（つまり、素人にはわからないらしい。）や、漁師の話、お奨めのランチの店を教わり、九州全土の地図まで頂いて、あつという間に佐賀関に到着した。予定通り教えていただいた店でランチを食す。タブン関アジは美味しかった。無事九州に上陸し、ここからは道路整備が最も遅れていると言われる大分・宮崎ルートだ。高速道路はもちろん、バイパスも所々しか出来ていない。フェリーのクルーの方から聞いた新しく出来た道（山ルート）を走る。それにしても15時過ぎに『宮崎 180KM』の標識を見た時はめげた。しかも旅のノルマ「一日一泳ぎ」はまだだったから、とにかくひた走る。途中、日向を越えたあたりのビーチでなんとかこの日のノルマをボディサーフィンでこなし、宮崎市内の村山家を目指す。

昨夏からの宮崎まで旅する、というプランを立てたきっかけは、テザー仲間であ



る村山家が2年前に名古屋から宮崎に転勤したことだったのだ。ヨット界でも類まれなヨット好き村山豊氏と、テザー界一我慢強い奥様と名高い佳乃子ちゃんは、現在テザーは手放してしまったもののレーザーやクルーザーでヨットを楽しみ、宮崎での南国ライフを満喫している。名古屋在住の頃にも一度、私の一人旅の安らぎの宿としてお邪魔させていただいたのだが、今回も快く私を向かえてくれた。浜名湖ワールドの時は0歳だった奈々ちゃんも、今やすっかりお姉ちゃんになって来年小学生になるそうだ。この日は村山家のご近所にある宮崎地鶏・馬肉の炭火焼居酒屋へ。馬肉・焼酎・美味しい。調子に乗って飲んで食べた。

翌日は平日のため、村山家の皆さんは

出勤・登園され、私は一日海水浴と日焼けに決めた。東京で決めていたこの日の目的地は都井岬だったのだが、調子に乗って飲んだ翌日の体調は説明するまでもなく、都井岬は断念し、村山家ご推薦の富士(ふと)海水浴場へ。日南フェニックスロードをドライブし、南国ムードあふれる宮崎の風景を堪能した。海水浴・日焼け・温泉と一日のんびり過ごし、夕刻、宮崎県立ヨットハーバーに立ち寄る。ここは新しく出来たハーバーで広大な公園が隣接されており、とても日本とは思えない景色。村山家のクルーザーもここにあったので久しぶりの対面をし、周辺を散策するとディンギーバースと立派なディンギー艇庫があった。こんなに施設の整ったハーバーが葉山にあったらなあ。

この日の晩御飯は宮崎市内から車で40分程度走った山の中にある炭火焼料理の店。「かくれのさと」と銘打っている通り、森の中の溪流沿いに(もう少し時期が早ければ蛍も見られただろう。)ひっそりとたたずむログハウス。神戸牛・松阪牛のルートとも言われる幻の宮崎牛の炭火焼は絶品だった。これをお読みの皆さんも宮崎にお出かけの際には

是非足を伸ばして、その感動を味わっていただきたい。そしてもう一つ、宮崎で食べたかったのが冷や汁。特別オーダーで頂いたのだが、これもまた美味だった。(帰りに冷や汁の素を買って帰り、現在も色々な食べ方を試し中。)

翌日以降は高速道路で博多まで行き、小學校時代からの友人に再会。スキッパーと



合流・小戸のヨットハーバーで金子夫妻と練習、日曜日には金子組、狩野・久礼組と共に第50回林杯ヨットレースに参加した。レース前夜の卸市場内の食堂での晩餐は、美味い・安いのでへれけだった。そんな翌日のレース結果はまあ予想通りだったが、地元の学生の活気あふれる姿に、ヨットがマイナースポーツであることを忘れさ

せてくれるパワーが感じられた。また、博多の地元のセーラーとも交流することができ、ヨットをカートップして各地のレースに参加出来るテザーの魅力が多少なりとも伝えることが出来たと思う。それから旅の途中で驚いたのは、声をかけてきてくれた方がカートップしたテザーを指す言葉が「ヨットですか?」というものだったこと。ポート?とか言われそうなものなのに、予想以上にディンギーも浸透しているのかな。それでも会話をすれば、ヨットと言えばアメリカズカップのような屈強な男性がやるもの、またはお金持ちが優雅にクルージングを楽しむもの、というイメージは強いと感じた。私みたいな能天気な一ちゃんでも身軽に楽しめるヨットもあるんだ、って、もっともっと色々な人に伝えていけたらと

思う。
通算12日という長丁場の旅を充実して過ごすことができたのは、様々な土地でテザーを積んでいることで声をかけられ、人々と話し交流することが出来たことが大きな要因だった。途中で思うことはいろいろあったが、こんな旅が出来た自分の環境には素直に感謝したい。

水と地と風と Udoさんをたずねて

レポート： 岡 誠

2人のセーラーと1人のサイクリストを、真っ平らな大地は温かく迎えてくれた。2004年5月下旬。ベルギーの大学で留学生生活を送る共通の知人を訪ねての旅。次世代暗号規格を生んだその街には、オランダ経由で向かうこととなった。

オランダは、ヨーロッパ・テザー協会プレジデントで、日本のレガッタに何回も参加しているUdoさんの母国。われわれはこの機会にUdoさんのホームタウンを訪ねることにした。

オランダ南西部Rotterdamの駅に降り立つと、ホームにはUdoさんとセーリン

グ仲間のMirjamさんが。Rotterdam港内のクルージングを楽しんでから、UdoさんとMirjamさんが所属するヨットクラブ"WV Oostvoorne"へ。

北海にほど近い静かな内湖のほとりに建つクラブハウスに入ると、ちょうどレース後のパーティー。クラブメンバーのみな



さんは日本から来たわれわれとビールを飲みながらヨット談義。Udo家は、ヨットク

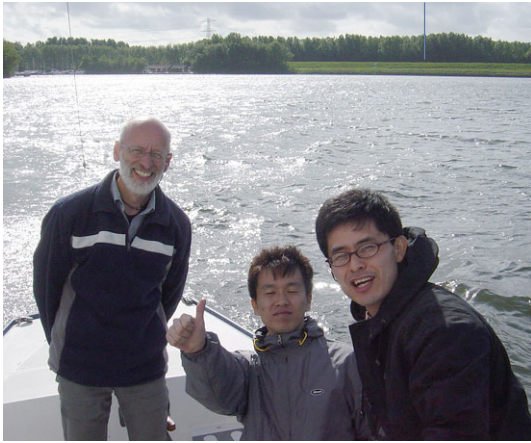
ラブから車で10分くらいのRockanjeという街にある。貸倉庫を改造した1階が艇庫、2階が仕事場・住居という造り。セーラーにはたまらない? 艇庫にはテザー6艇、レーザ2艇が天井からつり下げられている。すべて自分で作り上げたシャワールームやトイレのドアには、日本で売っている「浴室」と「化粧室」のプレートが。

日本好きなUdoさんが腕をふるった和食をいただく。白いご飯、里芋の煮っころがし、ナスとピーマンの炒めもの、魚のムニエルというメニュー。いや、もう、オランダの地でこれほどの品々を食べることができて感動。里芋の煮っ転がしなんて自分で作ったことないのに。

風車村や古城への観光へ向かう道中、オランダの「平らさ」を実感。

観光してから、「ちょっと乗ってみる?」

夕方からのセーリングは初体験。東西にのびる細長い内湖を、クルーザーは静



かに進んでいく。南北はたった数百メートル。この方向に上・下マークが設定されたら、2,3分で回ってしまいそう。ここでレースができるのかと疑問に思うと、どうやらマークは上・下などという位置づけではないようだ。棒を持たせてもらったりして、「ヨーロッパでもセーリングできた!」とはしゃいでいるうち

に、フネは棧橋へ。芝生の緑がまぶしい広場には、一休みするのはうってつけのレストラン。オランダ名物の一つ「ハーリング」(酢漬けニシン)をほおぼる。なんとシアワセなひととき。

車窓から気づいたことだが、運河の中にすこし広い場所があると、そこにはヨットが並んでいる。夏の日が長く、仕事の後でも十分水の上に向かうことができる。本当に

気軽にセーリングを楽しめる環境は、心からうらやましい!

UdoさんたちとRockanjeの地に別れを告げた後、北海沿いをバスとフェリーを乗り継いでベルギーへ。石の道や運河が縦横にはしる

水の都ブルージュの街は、中世のたたずまいがそれはとても美しい。水が大好きなわれわれは、レンタサイクルで運河沿いを疾走。ふたたび北海の海岸へと向かう。ゲントの街では、モーターボートを借りて運河や郊外の川を散歩。

思う存分水とふれあった10日間は、日本では味わえない「人と水とのかかわりあい」を再認識する旅となった。



WorldTopics
海外情報

2005 Tasar World Championship

Darwin, Northern Territory, AUSTRALIA
July 1-8, 2005

2005年世界選手権(オーストラリア、ダーウィン)まであと10ヶ月です。
現地からの情報をお届けします。

<http://www.tasar2005worlds.org/>

Early Bird Registration Prize

**2004年12月31日までにエントリーして
カカドゥ国立公園への旅を当てよう!**

2004年12月31日までにダーウィン世界選手権のエントリーフォームを送り参加費を支払うと抽選で、2005年6月27~29日、2泊3日のカカドゥ国立公園への旅(4名分、2,450オーストラリアドル相当)が当たります。賞品には、3日間のレンタカー、カカドゥ国立公園内ガガジュ・クロコダイル・ホリディン宿泊(ダブルルーム×2部屋、2泊朝食付)、湿原のクルーズ(4名分)及び60分の遊覧飛行(4名分)が含まれます。

大会スケジュール

- 6/30(木) 早期受付・計測
- 7/1(金) 受付・計測
- 2(土) 受付・計測、インビテーションレース
- 3(日) レース(Max3レース)
- 4(月) レース(Max3レース)
- 5(火) レース(Max3レース)
- 6(水) レイデイ(レース予備日)
- 7(木) レース(Max3レース)
- 8(金) レース(Max3レース)
- 9(土) レース(Max2レース)、表彰パーティー

エントリー

エントリーフィー: 495オーストラリアドル
(約40,000円)

エントリー締切: 2005年5月1日

オーストラリア

全豪選手権 結果

31st Australian Tasar Championships
2004.7.3-10
Mission Beach
[http://www.tasar.org.au/results/
31_Australian_Champs2004.htm](http://www.tasar.org.au/results/31_Australian_Champs2004.htm)

全 63 艇

上位成績

- | | | |
|---|------|-------------------------|
| 1 | 2666 | C. McPhee / K. Kellow |
| 2 | 2742 | P. Ridgway / B. Ridgway |
| 3 | 2714 | P. Wilson / G. Wilson |

McPhee 選手が昨年に引き続き優勝。優勝レポートをはじめとした全豪選手権の情報が詰まったオーストラリアのニュースレターは以下からどうぞ。
http://www.tasar.org.au/newsletters/Sep_04_Newsletter.pdf

北米

北米選手権 結果

Tasar North American Championships
2004.8.7-8
Cascade Locks, OR
[http://www.members.shaw.ca/tasar4/results/
2004/tasar_nas.html](http://www.members.shaw.ca/tasar4/results/2004/tasar_nas.html)

全 17 艇

上位成績

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| 1 | 2698 | Jay Renehan / Lisa Renehan |
| 2 | 2689 | Herb Cole / Alison Parker |
| 3 | 2690 | Carol Buchan / Carl Buchan |

初日は超微風、2日目は25ノットまで吹き上がるコンディション。優勝はRenehan夫妻。Whitstableワールドのチャンピオン、Buchan夫妻が3位。ベテラン夫婦の強豪が健在。

イギリス

全英選手権 結果

Tasar UK National Championships 2004
2004.8.8-13
Penzance Sailing Club
[http://www.hayenterprises.nildram.co.uk/tasar/
04/Nats/Nationals_results.html](http://www.hayenterprises.nildram.co.uk/tasar/04/Nats/Nationals_results.html)

全 35 艇

上位成績

- | | | |
|-----|------|----------------------------------|
| 1 | 434 | Steve Birbeck / Tom Birbeck |
| 2 | 1304 | Neil Spacagna / Anne Panther |
| 3 | 2518 | David Morgan / Alex Pickett |
| --- | | |
| 6 | 638 | Constantine Udo / Jan Slotemaker |
| 9 | 363 | Tim Knight / Mayumi Knight |

ここ数年で最も多い参加艇。Victoriaワールドにも参加していたBirbeck親子が2位以下を大きく引き離し圧勝。2年連続のチャンピオンに。Udo / Jan Slotemaker組、Knight夫妻もシングル入り。



(c) sailingscenes.com



(c) sailingscenes.com

【会費納入のお願い】

2004年度分の会費を下記までお振込みください。(2005年3月末迄有効)全日本選手権に参加される方は、事前手続きにご協力をお願いいたします。

振込先:

東京三菱銀行
逗子出張所(店番321)
普通 0495369
日本テザー協会 小松充
(振込み依頼人名は必ず会員本人のお名前をお願いいたします)

年会費:

個人会員	5,000円
個人3年会員	14,000円
家族会員	3,000円

<会費納入についての連絡先>

会計 小松

メール: kaikei@tasarjapan.org

【住所変更について】

住所等の登録事項に変更がありましたら、下記国内事務局までご連絡ください。協会 website でも住所変更用フォームが利用可能です。

【入会のご案内】

一緒にテザーを楽しみませんか?日本テザー協会では随時入会を受付けています。入会をご希望の方は、メールフォームまたは所定の申込用紙にてご連絡の上、左記口座に会費をお振込みください。振込が確認された時点で登録とさせていただきます。

ご不明な点は国内事務局までお問合せください。

<会員登録についての連絡先>

国内事務局 山床

メール: info@tasarjapan.org

<新規入会及び住所変更用フォーム>

<http://tasarjapan.org/membership/registration.html>

お便り 大募集

【TasarNews】ではみなさんからのお便りを募集中です。フリートレースの結果やローカルイベントのレポート、セールトリップの報告、新しいメンバーの紹介やニュースなど、皆さんの身近なテザーライフをご紹介ください。また、TasarNewsに関する感想やご意見も合わせてお寄せください。

お楽しいお便りをお待ちしています。

JTA 広報チーム

mail: publicity@tasarjapan.org
まで

Tasar News Vol.80

2004年9月発行

日本テザー協会
代表 本吉謙治
〒107-0062
東京都港区南青山3-3-10-102

Edit/Design

Sumiko Ishimaru

Staff

Makoto Oka
Mahoro Sekiguchi

Contact

事務局
info@tasarjapan.org
イベント
event@tasarjapan.org
メジャー
measurer@tasarjapan.org
会計
kaikei@tasarjapan.org
広報
publicity@tasarjapan.org

編集後記 Editor's Note

いやー、暑かったですね、今年の夏。本州南岸を流れる黒潮も十数年ぶりの大蛇行とやらで外洋レースでも大きな影響を受けたようです。そのあとは毎週のように日本を直撃する台風、台風、台風……。

何やら地球がおかしなことになっているのではないかと心配になってしまいます。台風で被害を受けた多くの方々に心よりお見舞いを申し上げます。夏休みはチョット南の島へ行ってきました。欧米人がのんびり寛く静かなビーチリゾートで、「顔・手・足」だけ異様に黒い謎の東洋人として、しっかりアピールしてきました。(なんの?) 土方

焼けになるくらいヨットには乗っているのですが、スプリングレガッタ以来テザーのレースに出ていません(T-T)。「あれー?あのいつでもどこでも登場する女、最近見てないなあ……」って感じでしょうか?まゝ海は逃げないので、まずは乗れる環境を整えて、また鼻息荒く?チャレンジしますので忘れずにいてくださいね。(石丸)



平成 16 年 9 月 14 日

日本テニサー協会会員各位

日本テニサー協会
会長 本吉謙治

平成 16 年度 年次総会開催のご案内

初秋の候、まだまだ夏の暑さが続きますが、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて来る 10 月 10 日、下記の通り平成 16 年度の年次総会を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

尚、出席できない場合は、**10月7日(木)まで** に国内事務局宛にファックスまたは郵送にて委任状をお送りください。よろしくお願いたします。

記

日時： 10 月 10 日（日） 18：00～

場所： 「新西宮ヨットハーバー 第一会議室」

<http://www.sinnisi-yh.co.jp/>

（全日本セーリングサイトより車で 5 分・駐車場あり）

- 議題
1. 平成 16 年度の活動報告
 2. 平成 16 年度会計報告
 3. クルーウェイト国内ルールの評価及び継続の是非について
 4. クラスルール改正投票の結果報告
 5. Tassar of the Year について
 6. 平成 17 年度活動予定（案）
 7. 平成 17 年度予算（案）
 8. その他

以上

委 任 状

私は平成 16 年度総会の一切の議決権を委任いたします。

平成 年 月 日

委任者 住 所
フリート名
氏 名

印

日本テニサー協会 会長 本吉謙治 殿

【委任状送付先】国内事務局 山床 清 **10月7日(木)必着**

〒272-0816 千葉県市川市本北方2-3-6-406 FAX：047-338-8209